



図書館だより

令和4年度学年末号



☆春の特別貸出のお知らせ

春休み前も長期貸出しをいたします。返却日まで3週間ほどありますので、読書の時間もお忘れなく。

***特別貸出期間：3月7日（火）昼休み～3月17日終業日まで**

この期間は通常の貸出しと違い、何タイトルでも借りられます。また、この期間に借りた図書についての返却は、次に定める図書返却日までとなります。

***図書返却日：新学年始業式4月7日（金）・10日（月）**

なお、今年の卒業生で春休み中の読書に図書を借りたい人には、返却方法を相談の上、貸出しいたします。遠慮なくお申し出ください。

☆図書館のあれこれ

図書館グッズその1「リーディングトラッカー」

みなさんリーディングトラッカーって知っていますか。タイポスコープやリーディングスリットとも呼ばれるこの道具は、読書補助具の1つです。今読んでいる行の周りを隠してくれ、集中して読み進めることができるよう工夫された道具です。使い方は、読みたい文章の上に乗せるだけと簡単です。

昨今は市販もされていますが、クリアファイルとマスキングテープを切って、簡単に自分好みにつくることもできます。使い方の例と、実際に作ったときの道具、出来上がったリーディングトラッカーがこちらです(写真3点省略)。図書室にサンプルを置いていますので、試してみたい方はぜひお声がけください。



☆新着図書案内

以下に挙げる図書は、今学期図書館に入った図書の一部です。著者名・書名に加えて、現在サピエ等で用意できるものがある場合は、明記してあります。ご活用ください。(墨：墨字 点：点字あるいは点字データ 拡：拡大 音：音声デジター テ：テキストデジター マ：マルチメディアデジター 着手：サピエあるいは本校で作成中)

なお、以前に同じタイトルを案内した場合も、別の形式が図書館所蔵となった場合(拡大図書が新たに入ったなど)は、再度掲載しています。

【単行本】

鷲田清一『「待つ」ということ』 墨・点 (他館から借受)・音

外山滋比古『思考の整理学—ワイド版』 墨・点・音・テ・マ

マツダ ミヒロ『13歳からの考える練習』 墨・点着手

内田 樹『転換期を生きるきみたちへ—中高生に伝えておきたいたいせつなこと』

墨・点・音

若松英輔『読書のちから』 墨・点・音・テ

原 貴太『あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣』 墨・点・音

朝日中高生新聞編集部『大人になったらしたい仕事(1)「好き」を仕事にした35人の先輩たち』 墨・点

朝日中高生新聞編集部『大人になったらしたい仕事(2)「好き」を仕事にした35人の先輩たち』 墨・点

朝日中高生新聞編集部『大人になったらしたい仕事(3)「好き」を仕事にした35人の先輩たち』 墨・点

白木朋子『子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート：世界から児童労働をなくす方法』

墨・点・音

NHK スペシャル取材班『高校生ワーキングプア』 墨・点・音・テ

須藤シンジ『意識をデザインする仕事』 墨・点・テ

福田育弘『ともに食べるということ』 墨・点着手

伊勢武史『生態学者の目のツケドコロ』 墨・点・テ





川上和人『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』 墨・点・音・テ
稲垣栄洋『明日ともだちに話したくなる野菜の話』 墨・点
樋口桂子『日本人とリズム感―「拍」をめぐる日本文化論』 墨・点着手
伊藤亜紗 他『見えないスポーツ図鑑』 墨・点・音
村上ナツ『能の本（1）』 墨
村上ナツ『能の本（2）』 墨
石崎洋司『平家物語 ストーリーで楽しむ日本の古典』 墨・点・音
まはら三桃『鷹のように帆をあげて』 墨・点・音
まはら三桃『零から0へ』 墨・点・音
樫崎茜『手で見ると世界は』 墨・点着手・音着手
高田由紀子『スイマー』 墨・点・音着手
森谷明子『春や春』 墨・点・音
青谷真未『水野瀬高校放送部の四つの声』 墨・点・音
川端裕人『リョウ&ナオ』 墨・点・音・テ
村山由佳『雪のなまえ』 墨・点・音
朝倉宏景『あめつちのうた』 墨・点・音
辻村深月『サクラ咲く』 墨・点・音
天沢夏月『ヨンケイ！！』 墨・点・音
如月かずさ『給食アンサンブル（1）』 墨・点・音
如月かずさ『給食アンサンブル（2）』 墨・点着手
鈴木ふみ『櫓太鼓がきこえる』 墨・点・音・テ
ヨシタケ シンスケ『日々臆測』 墨・点着手
辻みゆき『鈴の音が聞こえる 伝えるということ』 墨・点着手・音着手
辻みゆき『鈴の音が聞こえる 夏の鼓動』 墨・点着手
村木風海『火星に住むつもりです―二酸化炭素が地球を救う』 墨・点着手・音
朝井リョウ『正欲』 墨・点・音
逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』 墨・点・音・テ



【新書】
水村美苗『日本語が亡びるとき―英語の世紀の中で』 墨・点・音
バトラ―後藤裕子『デジタルで変わる子どもたち』 墨・点着手
高橋 進『生物多様性を問いなおす 世界・自然・未来との共生とSDGs』 墨・点着手・音
菅野 仁『友だち幻想―一人と人の“つながり”を考える』 墨・点・音・テ・マ着手
青木省三『ぼくらの中の発達障害』 墨・点・音
村山 綾『「心のクセ」に気づくには―社会心理学から考える』 墨・点着手・音着手
田中 修『植物のいのち』 墨・点・音・テ
土井隆義『友だち地獄―「空気を読む」世代のサバイバル』 墨・点・音
鷲田清一『わかりやすいはわかりにくい？―臨床哲学講座科学的とはどういう意味か』
墨・点・音
森 博嗣『科学的とはどういう意味か』 墨・点・音
阿部 彩『子どもの貧困―日本の不公平を考える』 墨・点着手
宇野重規『<私>時代のデモクラシー』 墨・点
桐野高明『医療の選択』 墨・点・音
高橋裕子『津田梅子―女子教育を拓く』 墨・点着手・音着手
上田紀行『生きる意味』 墨・点・音
神野直彦『「分かち合い」の経済学』 墨
村上陽一郎『コロナ後の世界を生きる 私たちの提言』 墨・点・音・テ
中村桂子『科学者が人間であること』 墨・点・音
柏木恵子『おとなが育つ条件―発達心理学から考える』 墨・点・音
柏木恵子『子どもが育つ条件―家族心理学から考える』 墨・点・音
阿部 彩『弱者の居場所がない社会―貧困・格差と社会的包摂』 墨・点・音
川端裕人『我々はなぜ我々だけなのか―アジアから消えた多様な「人類」たち』
墨・点・テ
平田オリザ『わかりあえないことから―コミュニケーション能力とは何か』 墨・点・音
汐見稔幸『本当は怖い小学一年生』 墨・点・音





伊藤亜紗編『「利他」とは何か』 墨・点・音・テ

永田和宏『知の体力』 墨・点・音・テ

森 博嗣『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』 墨・点・音

養老孟司『「自分」の壁』 墨・点・音・テ

【文庫】

榎田ユウリ『カブキブ! 〈1〉』 墨・点・音

榎田ユウリ『カブキブ! 〈2〉』 墨・点・音

宮台真司『14歳からの社会学—これからの社会を生きる君に』 墨・点・音・テ着手

鴻上尚史『孤独と不安のレッスン—よりよい人生を送るために』 墨・点・音

山極寿一『ゴリラからの警告「人間社会、ここがおかしい」』 墨・点・音・テ

【なるには BOOKS シリーズ】

漆原次郎『情報学部 大学学部調べ』 墨・点着手

浅野恵子『芸術学部 大学学部調べ』 墨

木村由香里『生活科学部・家政学部 大学学部調べ』 墨

大岳美帆『人間科学部 大学学部調べ』 墨

山本健翔『声優になるには』 墨

渡辺裕美『介護福祉士になるには』 墨

益田美樹『日本語教師になるには』 墨

飯島一孝『弁護士になるには』 墨・点

小杉真紀『アニメ業界で働く 補巻』 墨

【拡大】

原田マハ『太陽の棘 上・下』 墨・点・音

瀬尾まいこ『強運の持ち主 上・下』 墨・点・音

池澤夏樹『のりものづくし』 墨・点・音

三浦しをん『月魚』 墨・点・音

読みたい図書がみつかったら、遠慮なく声をかけてください。

